

第4回 定例会

令和3年第4回定例会は1月1日から10日まで、10日間の会期で行いました。令和3年度補正予算など議案16件・報告7件・承認一件・発議一件・発委一件が提案され、いずれも原案通り可決しました。また議案一件を継続審査、請願一件を採択、継続審査としていた請願一件を不採択としました。

第6次吉岡町総合計画基本構想（案） 特別委員会の設置、 審査始まる

基本構想で示された10年後の吉岡町の将来像



6つの基本目標

- 紡ぐ1** すべての住民に優しい健康・福祉施策の充実
- 紡ぐ2** 「学びのまち・吉岡」の推進
- 紡ぐ3** 次世代につなげる生活環境の充実
- 紡ぐ4** 地域産業の持続的発展支援
- 紡ぐ5** 緊急時対応への備えの充実
- 紡ぐ6** 将来を見据えた行財政運営の推進

3つのまちづくりポリシー



- ①ブランド力と郷土愛**
- ・吉岡町の価値をあらゆる分野で向上させます
 - ・自らの町であり、ふるさとであるという郷土愛を育みます



- ②ダイバーシティ**
- ・新旧住民、年代、性別、国籍等に、こだわらず、吉岡町民として多様性を受け入れる風土を築きます



- ③持続可能性**
- ・先人が築き、育ててきた、この豊かな吉岡町を、次世代により良い姿でつないでいきます



榛名山麓から利根川まで広がる吉岡町は、人口増や企業の進出などで今後も発展を続けていく



ここが知りたい

議会のいろいいろ

総合計画基本構想

吉岡町がこれまで引き継がれてきた姿を今後も継承し、町の在るべき姿をより確かなものへとしていくため、長期的視野に立った持続可能なまちづくりの方向性を示すものであり、今後のまちづくりの基本方針となるもの。計画期間は、令和4年度から令和13年度までの10年間。

特別委員会

特定の事件を審査するために設置される臨時的な機関。その事件の調査・審査が終了すれば、消滅する。

特別委員会による審査開始



副委員長
廣嶋 隆 議員



委員長
平形 薫 議員

12月1日の本会議で、総合計画特別委員会設置の発議があり、全会一致で設置を議決しました。委員は議長を除く全員（12人）です。議決後に委員会を開き、委員長に平形薰議員、副委員長に廣嶋隆議員をそれぞれ選出しました。その後、議長より議案である第6次総合計画基本構想についての委員会付託があり、委員会審査の結果、継続審査となりました。

指定管理者の指定 学童クラブ・よしおか温泉など



2月完成予定の明治第2学童クラブ



露天風呂付き大浴場のよしおか温泉

学童クラブの指定管理者に社会福祉法人吉岡町社会福祉協議会が再指定されました。

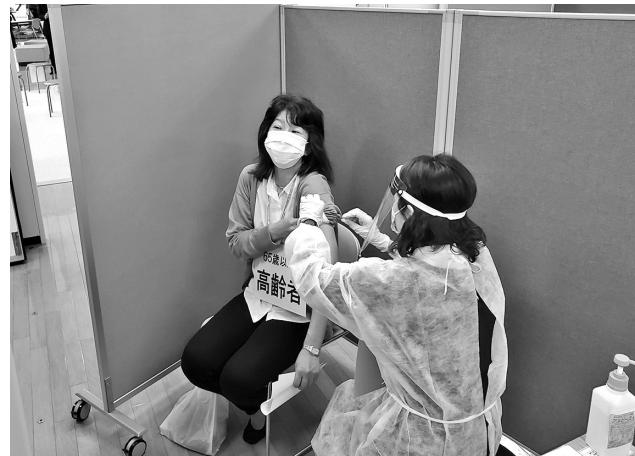
また、よしおか温泉リバートピア吉岡および緑地運動公園（河川敷公園）、道の駅よしおか温泉の指定管理者に株式会社吉岡町振興公社が再指定されました。

一般会計 補正予算

コロナワクチン接種と特別給付金5万円の支給

補正による主な事業

新型コロナ予防接種	1億3,820万円
障害者福祉費	3,164万円
明治第2学童クラブ施設設備品の購入	400万円
道の駅 Wi-Fi 更新	133万円
子育て世帯へ5万円の臨時特別給付金	2億2,500万円
(子育て世帯への臨時特別給付金の給付) (は12月中旬から始まっています)	



3回目の接種は2月から予定している

令和3年度 各会計別補正予算の状況

(万円未満は四捨五入)

会計名		補正額	補正後の予算額
一般会計		4億6,320万円	93億8,298万円
特別会計	国民健康保険事業	100万円	18億7,112万円
	介護保険事業	779万円	15億9,372万円
	後期高齢者医療事業	74万円	2億2,076万円
企業会計	水道事業 収益的支出	43万円	4億2,811万円
	資本的支出	124万円	1億5,471万円
	下水道事業 収益的収入	▲56万円	3億1,415万円
	収益的支出	▲269万円	2億8,192万円
	資本的収入	1,733万円	2億243万円
	資本的支出	1,726万円	3億642万円

請願・委員会発議

	件名・要旨	提出者・紹介者	委員会結果	結果
請願 第3号	核兵器禁止条約の署名と批准を求める請願 …核兵器のない世界の実現に向けた国際社会の取り組みをリードするため、核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書について、国への提出を求めるもの。	渋川平和委員会 会長 伊佐 信義 紹介者 小池 春雄	不採択 (全会一致)	不採択 (賛成1 反対11)

討論

反対

平形 薫 議員

日本は唯一の被爆国であり、私は、過去の核兵器禁止条約成立の請願は私も賛成し、町議会も採択しています。

しかし、日本の安全保障を考え、アメリカによる核抑止力の傘下にある日本は、日米同盟関係に大きく影響します。いまだに平和条約が締結されないロシアや、尖閣諸島を含む東シナ海の覇権を強固に握るような中国を考えると、日本のパワーバランスを維持するこれが最も良い選択肢と考え反対致します。

賛成

小池 春雄 議員

私は被爆国として、この世界、地球上から全ての核兵器がなくなることが大事であつて、あっちの傘だ、こっちの傘だ、という話ではなくて二度と同じ戦火を繰り返さないためには、この世から

小林 静弥 議員

世界で唯一の被爆国である日本は、核兵器廃絶や核不拡散を積極的に訴えてきました。私も核兵器廃絶には賛成です。

しかし、全世界が一斉に核兵器を持たなくなることが現実的に不可能であります。私は日本政府の「この条約に参加すれば国民の生命・財産を危険にさらすことになります」という見解を支持し、この請願は不採択にすべきと考え、反対します。

核兵器がなくなることで占める国が核兵器禁止条約に賛成しています。被爆国である日本こそ先頭に立ち、核兵器禁止条約を批准することを求め賛成討論とします。

	件名・要旨	提出者・紹介者	委員会結果	結果
請願 第4号	安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るために国に対する意見書を求める請願…新たなウイルス感染症拡大などの事態に備え、社会保障の拡充を求める意見書について、国への提出を求めるもの。	群馬県医療労働組合連合会 中央執行委員長 出浦 匠人 紹介者 小池 春雄	採択 (全会一致)	採択 (全会一致)

	件名・要旨	提出者	結果
発委 第3号	安全・安心の医療・介護・福祉を確立し国民のいのちと健康を守るために意見書	文教厚生常任委員会 委員長 村越 哲夫	可決 (全会一致)

意見書の要望内容

1. 新型コロナウイルス感染症に対応した安全・安心の医療・介護・福祉提供体制を確保すること。
 ①医師、看護師、医療技術職員、介護職員などを増員し、夜勤改善や長時間労働改善など、勤務環境と待遇を改善すること。
 ②公立、公的病院の再編統合や病床削減方針を見直すこと。
2. 保健所の増設など公衆衛生行政の体制を拡充し、保健師などを増員すること。
3. 社会保障・社会福祉にかかる国庫負担を増額し、75歳以上の窓口負担2倍化を中止するなど国民負担を軽減すること。